

EV超小型モビリティ デザインコンテスト 企画



APEV

電気自動車普及協議会
Association for the Promotion of Electric Vehicles

Ver1.05

プロジェクト概要：企画の狙い



昨今、超小型モビリティに関する行政の動きが注目され、民間でも種々の試みがなされています。当協議会といたしましても、活動を活性化して社会に対して訴求すると共に、モノ作りの楽しさとワクワク感を次世代を担う学生に体験していただきたいという趣旨から本コンテストを企画いたしました。

『EV超小型モビリティ デザインコンテスト』

- ・超小型モビリティの3次元デザイン^(*注1)案を募集、審査、発表する。
(*注1)：国交省の定める超小型モビリティ規格に適合した電気自動車（EV）の上屋（うわや）のデザイン
- ・単なる車のデザインだけではなく、
社会・街・地域の人々・文化等との関わりも含めた環境デザインを募集。
- ・「18歳以上の学生・原則2名以上」の**チームで応募**～ 個のネットワークと融合を促し、
アイデアを皆で広げ育てる環境を用意する。
- ・一般的なコンペとは違い、製作活動の進捗を**SNSを活用して共有**～ 製作プロセスも評価対象とする。
- ・最終審査においては、3次元デザインツールを提供する。
- ・デジタルツールは、単に道具としてではなく、素材として捉える事を前提に提供する。
- ・2014年以降も当コンテストを継続開催し、**デザイン→設計→実車製作まで**を視野に入れる。

プロジェクト概要：超小型モビリティとは



【超小型モビリティとは？】

日本の国交省が昨年発行した「超小型モビリティ導入に向けたガイドライン」
<http://www.mlit.go.jp/common/000212867.pdf>
では超小型モビリティを、次のように定義しています。

「自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両」更に「導入・普及により、CO2の削減のみならず、観光・地域振興、都市や地域の新たな交通手段、高齢者や子育て世代の移動支援等の多くの副次的便益が期待される」とされています。

日本の国交省が本年2月1日に報道発表した「超小型モビリティの導入について」の
「超小型モビリティの認定制度について」
http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr1_000043.html

では、対象とする超小型モビリティは以下の要件を全て満たすものを認定制度の対象としています。

- ① 長さ、幅及び高さがそれぞれ軽自動車の規格内のもの
- ② 乗車定員2人以下のもの（2個の年少者用補助乗車装置を取り付けたものにあっては、3人以下）
- ③ 定格出力8キロワット以下（内燃機関の場合は125cc以下）のもの
- ④ 高速道路等を運行せず、地方公共団体等によって交通の安全と円滑を図るための措置を講じた場所において運行するもの

プロジェクト概要：組織



主催： 電気自動車普及協議会

後援： 経済産業省

* アイウエオ順

国土交通省

東京大学大学院情報学環

ダッソー・システムズ



プロジェクト概要：募集対象と審査方法



【募集対象】

日本及び海外の学校の学生（18歳以上）2人以上のチームを募集する。

現在募集中です。

【審査方法】

- 1) 1次審査：実際の使用シーンを含めた車両コンセプト+アイディアスケッチ（手書き可）
- 2) 最終審査：1次審査に合格した物を3次元デザインする。

【審査基準】1次・最終審査共通

コンセプト	コンセプトが明快である。（EV超小型EVリリーと社会・街・地域の人々・文化等との関わりも含めた環境デザインを明確にイメージし表現してください）
オリジナリティ	アイデアの独創性。 ※応募者自身のオリジナル作品であり、国内外で未発表のものに限ります。
実現性	アイデアが将来実現でき説得力がある。
参加者間コミュニケーション	SNS等の活用 ※審査における課題提出物だけでなく、制作活動のプロセス（SNS上の情報発信内容及び頻度、交流が対象）も評価対象となります。

【使用ツール】

最終審査に進むデザインは、3次元デザインソフトを使用します。

3次元のスケッチを作成するソフトはコンテスト期間中、1次審査を通過した参加チームへ無償で貸与されます。

3次元デザインに必要なハードは、協賛企業各社から1次審査を通過した参加チームへ無償で貸与される予定です。

応募者はSNSを使用して主催者、応募者相互及びオブザーバーとの情報交換を行う予定です。

※ソフト・ハードなどをご提供いただける企業を引き続き募集中です。

プロジェクト概要：審査員・賞品



【審査委員】

◆審査委員長

奥山 清行 様 (工業デザイナー・KEN OKUYAMA DESIGN 代表)

◆審査委員

安藤 忠雄 様 (建築家・東京大学名誉教授)

織作 峰子 様 (写真家・大阪芸術大学写真学科教授)

河口 洋一郎 様 (東京大学大学院 情報学環教授・CGアーティスト)

藤本 彰 様 (カースタイリング出版・代表)

田嶋 伸博 (電気自動車普及協議会 代表幹事)

【賞品】 * ユニークな賞品

* アイウエオ順

優秀作品となったチームに対して、

「電気自動車 (EV) に関する特別な体験」を提供

- 例)
- ・ 著名なデザイナーとの交流機会
 - ・ ハワイなど海外の環境エネルギー関連展示会への招待&発表機会
 - ・ 海外EV企業・団体訪問及び交流 等

プロジェクト概要：日程



【日程】

- 公式発表 . . . 2013年1月15日（火）
- 参加チーム募集締め切り . . . 2013年5月8日（水）
- 1次審査参加作品締め切り . . . 2013年6月28日（金）
- 1次審査結果発表 . . . 2013年7月10日（水）
- 最終審査作品締め切り . . . 2013年9月27日（金）
- 最終結果発表 . . . 2013年10月11日（金）
- 東京モーターショーSMART MOBILITY CITY 2013
で表彰式とカンファレンス . . . 2013年11月末（予定）
- APEV主催の「超小型モビリティ普及促進と
& 学生デザインコンテスト結果報告」シンポジウム
. . . 2014年3月初旬（予定）

※日程は変更の可能性があります。

「超一流アーキテクト、デザイナーによる評価」



© Tadeo Ando Architect & Associates



地域・インフラ・環境デザインの創出



環境デザインと合致する意匠デザインの創出



審査員：学生への最高の機会提供



超一流のプロフェッショナル陣による審査

奥山 清行



(工業デザイナー)

安藤 忠雄



(建築家)

河口 洋一郎



(CGアーティスト)

織作 峰子



(写真家)

藤本 彰



(カースタイリング出版・代表)

田嶋 伸博



(APEV代表幹事)

プロジェクト概要：参加学生メリット



【参加学生へのメリット】

- ・ 学生のコンセプトやデザイン提案力の養成
- ・ 学生のキャリア形成と社会に対するアピール
- ・ 学生のデジタルツールの活用スキル養成
- ・ 学生のデザインが商品化される可能性がある

プロジェクト概要：協賛予定企業



【協賛予定】

株式会社ストラタシス・ジャパン
株式会社ベネッセホールディングス
株式会社ワコム
デル株式会社
日産自動車株式会社
日本ヒューレット・パッカー株式会社
レノボ・ジャパン株式会社
株式会社アスプロス

※協賛社を引き続き募集しています。

お問い合わせは、 contest@apev.jpまで。

ご協賛パッケージプラン



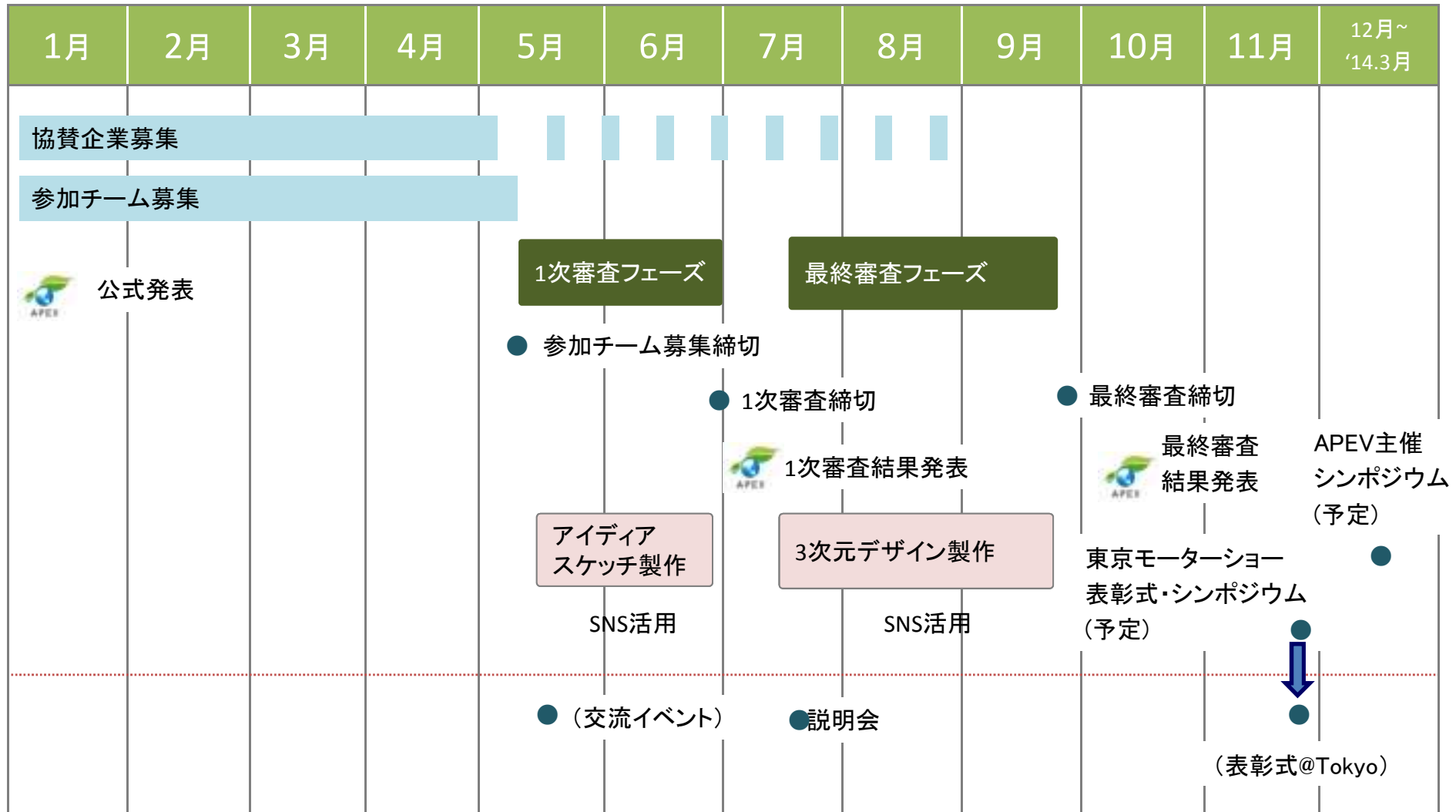
ご協賛企業様メリット

- 日本のデザイン界を担う学生の育成に貢献（社会貢献）
- コミュニティ参加者とのコミュニケーションの場としての活用。（ニーズの吸い上げ）
- EV普及活動、温暖化防止のため活動している企業・団体であることを内外にアピール。

	パッケージタイプ		
	A	B	C
①コンテストのコミュニティサイトへのバナー掲載	●	●	●
②特設サイト（コンテストオフィシャルサイト）へのバナー掲載	●	●	●
③コンテストのコミュニティサイトへのブログを活用したPR	●	●	
④告知印刷物（ちらし、DM）への社名およびロゴの掲載	●	●	
⑤コンテスト事例（2次活用）の一部権利のご提供	●	●	
⑥コンテストのコミュニティサイト上での専用メッセージ枠のご提供	●		
⑦企業冠賞の設置	●		
⑧優勝者発表の場での挨拶	●		
金額	90万円	50万円	30万円

※当会会員企業様とのコンタクトについては、別途、APEV正会員への入会を頂く必要がございます。

コンテストの活動スケジュール



皆様のご支援・ご協力、よろしくお願いいたします。

